

令和4年度 中津川市区長会連合会「地球温暖化防止に向けた取り組み」 各地区の取り組みのまとめ

中津川市区長会連合会事務局（市民協働課）作成

■ 中津西地区

【行った取り組み】

- ・ 各区で独自のチラシ等を配布し、啓発活動を実施
 - ①区民のゴミ出しルール順守 ②多言語チラシ等対応 ③ゴミステーションでのカラス対策 ④ゴミの減量対応 ⑤環境センター広域化への協力体制 ⑥その他
- ・ 区長、住みよい環境づくり推進員等を対象に環境勉強会を実施

【課題】

- ・ ゴミに対する当事者意識の醸成 ・ ゴミ減量に対する取り組み啓発活動 ・ 住民参加の環境活動の充実

■ 中津南地区

【行った取り組み】

- ・ 資源回収で古紙の回収を実施（11区中4区が実施。多い区で年間約23.2トン、18.2トン回収）
- ・ 産業廃棄物として処理される伐採木の資源化
道路整備、治山工事に伴う伐採木を活用して木炭（1.7トン）、薪（赤松、杉）を生産し、販売
- ・ 一斉清掃で出た枝やツタを軽トラに積み、環境センターに搬入（後に堆肥化される）
→軽トラで運んだことでビニール袋を削減
- ・ 3つの目標（1.こまめに電気を消そう、2.生ごみの水きりをしっかりしよう、3.水を出しっぱなしにしないようにしよう）を定め、各戸にチラシを配布
- ・ 区内の取り組み状況、成果についてアンケート調査を実施
→約96%の家庭で取り組みを実施。光熱費、資源の節約、取り組み意識の醸成に繋がった
- ・ 区内回覧で「不燃ごみと資源ごみの分別ルール」の徹底を周知

【課題】

- ・ 回収BOX周囲の汚れが発生 ・ ごみステーションの設置場所確保 ・ 取り組む家族全員の共通理解が必要
- ・ 成果の可視化 ・ 人材育成、確保（高齢化） ・ 金銭面での成果が出てこない

■ 中津東地区

【行った取り組み】

- ・ ゴミの減量化：木箱コンポストを作成し、モニターに配布して使用
- ・ ゴミの分別化：家庭から出た廃食用油を各地区の資源ごみ回収日に回収する事業を開始（回収した廃食用油はバイオディーゼル燃料（BDF）としてディーゼル鉄道（明知鉄道）の燃料として再利用される）
- ・ 食品ロスの0化：まちづくり推進協議会にて子ども食堂の立ち上げを計画。今後食材の確保等について議論を進め、食品ロスの0化を提唱



【課題】

- ・ 区民への周知 ・ 継承者の確保 ・ 資金調達

■ 苗木地区

【行った取り組み】

- ・ 地域版広報で取り組みに関する内容を掲載（水切りでゴミ減量、雑がみリサイクルゴミ減量作戦延長、木箱コンポストで生ごみ減量）
- ・ 雑がみを持ち込むとスタンプを押し、スタンプが貯まると市指定燃えるゴミ袋と交換する事業を延長して実施
- ・ 環境政策課の出前講座を開催
- ・ モニターを募り、木箱コンポストを各区に1基、16世帯に設置



- ・廃食用油の活用でリサイクルを目指す活動について勉強（次年度から事業開始を目指す）

【課題】

- ・地区目標の見直し ・リサイクルBOXが1ヶ所のため近隣の人中心になり、活動の広がりに時間を要した
- ・木箱コンポストの作成に費用と手間がかかる ・廃食用油の回収に向けた準備（事業者との話し合い）

■坂本地区

【行った取り組み】

- ・環境政策課の出前講座を受講（ごみ減量、SDGs、地球温暖化防止について）
- ・地域版広報紙で地区目標を掲載し、取り組みを呼びかけ
- ・同広報で区長会長新年あいさつでも呼びかけ

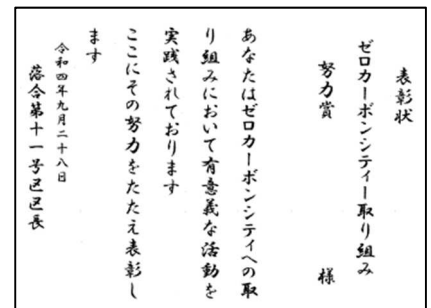
【課題】

- ・区長会内での引継ぎ不足により共通理解に時間を要する

■落合地区

【行った取り組み】

- ・各号区で取り組み計画を立て、12月の区長会にて結果を報告
- ・節電の表示シールを全戸配布
- ・エアコン設定温度を変更、エアコンに設定温度を表示
- ・収集場所に掲示板を作り、ごみの分別を徹底
- ・取り組みに対する意識向上のための呼びかけを実施
- ・PTA 資源回収への協力
- ・各家庭（特に子ども）にゼロカーボンへの取り組みを提案してもらい、提案内容を評価して表彰



【課題】

- ・地区目標の内容が難しい

■阿木地区

【行った取り組み】

- ・子育て用品リユースのチラシを全戸配布
保育園、小・中学校にチラシを配布、阿木公民館図書室に交換品の情報を随時掲示（SNS、LINEに登録して随時検索が可能）
→ベビーベッド、チャイルドシート、英語教材などが交換された
- ・環境政策課と区長会で廃食用油の回収について打合せを実施



【課題】

- ・リユースの取り組みで提供する品物数を増やす

■神坂地区

【行った取り組み】

- ・地域版広報に取り組みに関する内容を掲載
- ・神坂大桧周辺を整備し、大桧保全と歩く大桧見学やもみじ狩りを促進
- ・中山道馬籠宿 夜明け前ウォーキングのPRと住民参加に協力
- ・湯舟沢河川公園周辺に花桃100本植樹
- ・島田公園内にもみじ100本、花桃100本植樹（予定）
- ・リサイクルボックスの維持管理

【課題】

- ・地域温暖化防止との結びつきを住民に理解いただくこと ・自発的な取り組みが生まれていない
- ・コロナ禍で取り組みに感染防止等の配慮が必要

■ 山口地区

【行った取り組み】

- ・ 区長会にて取り組みについて町内会を通じて啓発することを決定し、毎月定例の町内会長との合同会議時に標語を掲げ、地区目標を掲載し、地域で取り組みを徹底するよう呼びかけを実施

【課題】

- ・ 持続的に取り組むための意識付け ・ 街灯が少ないため、こまめな消灯には防犯対策への考慮が必要
- ・ 公共交通機関に恵まれていない地域であるため、徒歩や自転車への促しが困難

■ 坂下地区

【行った取り組み】

- ・ 標語・地区目標を明記したチラシを掲示（昨年度から継続）
- ・ 坂下診療所、さくら苑の草刈り作業で出た草を昨年度までは一般ごみで処理していたが、処理を業者に依頼
- ・ 区長会通信を発行し、地球温暖化に関する内容や区長会連合会、区長会の取り組みを掲載し、住民に周知
- ・ 中津川市のホームページ（坂下地区のページ）に坂下地区の目標を掲載

【課題】

- ・ 啓発活動が主になり、成果が見えにくい ・ 使用頻度が低い場所のLED電球の交換が進まない

■ 川上地区

【行った取り組み】

- ・ 年2回（5、11月）の資源回収日程について地区回覧で周知し、令和3年度からビン類の回収中止について徹底
- ・ 県道はじめ地区内主要道路の草刈り、花壇の整備を中心に一斉清掃を3回（5、7、9月）実施

【課題】

- ・ 分別が徹底されていない ・ 高齢化、人口減少による参加者の減（一人当たりの作業量の増）

■ 加子母地区

【行った取り組み】

- ・ 各区長を通じて地球温暖化防止につながる取り組みについて依頼
- ・ 環境月間に合わせ、加子母図書室で環境問題に関する本の展示を実施
- ・ 地域の公共スペースの雑草除去と国道256・257号線への花植え作業を各戸1人の出役で実施
- ・ 花づくり活動をとらえた写真コンクールを実施
- ・ 左義長で正月しめ飾りのプラスチック製品等の分別の徹底



【課題】

- ・ 一人一人の意識を高めること（問題意識を持ってもらう仕組みが必要）

■ 付知地区

【行った取り組み】

- ・ ごみ減量とまちづくり、子どもたちのためにもなる資源の拠出を地元へ促すポスターを作成し、配布
（41町内会および園長校長会、その他団体へ配布し、周知）
→周知以降、常設ステーションへの持ち込みが大幅に増加。

『資源』は地元へ出しましょう				
アルミ缶や新聞紙をごみとして廃棄せず、『資源』として地元へ出すことにより、付知の子どもたち、まちづくり、障がいのある方への就労支援に役立てられ、ごみ減量にもつながります。				
付知中学校PTA資源回収				
品 種	期 間	収集期	お知らせの方法	収集の方法
資源回収 《収集場所：付知中学校 自転車庫裏》	毎年11月下旬～12月中旬	・アルミ缶 ・紙類	・看板 ・ポスター ・回収箱	付知中学校にて収集（資源回収の日の午前9時～午後5時）※回収箱は回収日当日に回収
「リサイクルステーション」へ 直接持ち込み	随時	紙類		付知町森林組合 駐在所北側に設置
付知北小学校PTA資源回収				
品 種	期 間	収集期	お知らせの方法	収集の方法
資源回収 《収集場所：付知北小学校（センター）》	毎年6月	・アルミ缶 ・紙類	・看板 ・ポスター ・回収箱	付知北小学校にて収集（資源回収の日の午前9時～午後5時）※回収箱は回収日当日に回収
「リサイクルボックス」へ 直接持ち込み	随時	アルミ缶		大山町（付知北） 西側に設置

【課題】

- ・ 分別が不十分 ・ 資源ごみなどを廃品回収業者に出す人が多い ・ 民間の資源回収ステーションの利便性が高く、そちらに資源が流れている。ごみ減量にはつながるが、地元へ資源を出すことでまちづくり等につながるという周知も必要

■福岡地区

【行った取り組み】

- ・リサイクル活動の活性化のため、従来からあるリサイクルボックスの隣に古着専用ボックスを設置
→出しづらかった衣類が、専用ボックスができたことで大量に回収可能になった



【課題】

- ・リサイクルボックスを頻繁に利用する生活道に近い場所に設置して活用を高める
- ・各家庭で資源回収に出す資源のストックがあり、リサイクルボックスでの回収量が少ない

■蛭川地区

【行った取り組み】

- ・アルミ缶の回収：年に3回で約1.5トンを回収
- ・愛林作業：花木エリアの下刈り整備（住民約50名による約11,000㎡の整備）
公園の草刈り整備（住民約50名による約12,000㎡の整備）
- ・環境保全：通学路の草刈り、危険木の除去（区民が参加）
- ・里山整備：散策路等の下刈り等景観整備
里山活性化委員会による、公共施設（蛭子座、小・中学校、市道、公園）の草刈り等通年整備
- ・学習・PR：中学2年生が「CO₂削減・SDGs」チラシを作成（全戸配布予定）
「区長会・振興会だより」配布によるPR

【課題】

- ・アルミ缶の回収：住民への周知徹底
- ・愛林作業：作業の必要性等の認識を高める
- ・環境保全：通学路等だけでなく、地域全体を考慮した計画
- ・里山整備：区長を中心とした委員活動のため、人員が不足